

平成 28 年度事務事業評価表(一般用)

事務事業名		810703 館内奉仕事業		担当部課	部課コード	810700	2995-6311		
事業コード		810703		所沢図書館					
開始年度		昭和 39年度		終了年度	平成 年度				
		開始年度		グループ		一般奉仕・児童奉仕・資料			
事業の概要	事業の種類別	自治事務		法定受託事務		法定受託+ 附加			
	分野別計画・指針	所沢市図書館ビジョン		根拠法令					
	関連・類似事業			図書館法、所沢市立所沢図書館設置条例 同施行規則					
	総合計画の体系	章	教育・文化・スポーツ	節	社会教育	基本方針	図書館機能の充実		
事業開始の背景	図書館法に基づき、昭和39年に所沢図書館を設置し、所沢図書館設置条例及び同施行規則により事業を開始する。								
事業の内容	目的(どのような効果を目指して実施しているのか、具体的に)								
	市民の教養と文化の発展のため、資料及び情報を提供する。								
	対象(誰を、何を対象としているのか)	対象数	単位	平成 26 年度	728,635	人			
	主に市内に居住又は通勤・通学する者、及びダイアプラン3市(飯能市、狭山市、入間市)に居住する者			平成 27 年度	726,493	人			
事業の具体的な内容及び実施方法	<ul style="list-style-type: none"> ・図書(一般書、児童書、雑誌、紙芝居、絵本)を個人・団体に対し、閲覧・貸出利用に供する。 ・CD、DVD及びビデオを個人に対し、貸出利用に供する。 ・図書館資料について十分な知識を持った職員が、問い合わせ・読書相談や利用のための相談に応じる。 ・視覚に障害のある方に対して対面朗読サービスや録音図書を提供する。 								
経費	会計種別	一般会計		平成 26 年度 (千円)	平成 27 年度 (千円)	平成 28 年度 (千円)			
	予算現額			61,689	61,647	59,385			
	決算(見込み含む)			70,119	58,230				
	(非常勤特別職員)	(臨時の任用職員)	(0.00 人)	(20.15 人)	(0.00 人)	(20.15 人)	「財源内訳」について平成28年度のみ、当初予算の内訳となっています。		
	正規職員人件費			6.61 人	58,750	6.67 人	58,169		
	事業費合計			127,765	116,399	116,399			
財源内訳	一般財源			127,765	116,399	59,385			
	国・県支出金			0	0	0			
	その他()			0	0	0			
実績	項目名	項目説明		単位	H 26	H 27	H28見込み	将来目標	
	活動実績	貸出数	本館での年間貸出数	点	388,293	321,776	390,000	620,000	
		予約受付件数	本館カウンターでの年間予約受付・取消件数	件	19,838	16,928	20,000	30,000	
成果	項目名	項目説明		単位	H 26	H 27	H28目標値	将来目標	
成果指標	来館者数	本館での年間来館者数		人	目標値	400,000	400,000	400,000	420,000
					実績	260,217	232,568	<input checked="" type="checkbox"/> 「実績」 拡大図る	<input type="checkbox"/> 「実績」 縮小図る
目標達成状況	どれだけ目標に近づいているかを達成率として示しています			%	達成率	65	58	どちらかをチェックしてください	
改善点	(1)平成27年度中に改善した点(改善内容・その結果について記載してください)				(2)平成27年度成果指標の目標値が未達成の理由・分析				
	調査・研究を目的とした図書館利用に対応するため、各種データベース情報等のレファレンス・ツールの充実・活用を図った。問い合わせの多い介護に関する本のコーナーを医療・健康コーナー付近に設置し、利用者の利便性向上と利用の促進を図った。就労支援のため、ハローワークから求人情報を取り寄せて配布した。保健・福祉関係課から各種制度や医療・健康に関する情報のパンフレットやリーフレットを取り寄せて配布する等の連携を図り、情報提供に努めた。利用者への課題解決支援サービスの周知を図るため、図書館ホームページにおいてレファレンス事例を公表するとともに、国立国会図書館レファレンス協同データベースへも積極的に掲載し、国立国会図書館から、一定の基準を満たしたことによる評価(お礼状)を得た。NHKのテレビ番組において、レファレンスサービスに関する取材及びその放映により、レファレンスサービスの周知に努めた。				未達成の大きな要因は、平成27年度に本館が長期休館したことが影響していると考えられる。その期間は、新所沢分館、所沢分館等各エリアに利用者が分散され、その後しばらくは、本館への来館者が増えなかったものと思われる。				
評価	評価	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	事業実施方法(複数選択可)	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小	理由	身近な生涯学習の拠点として、情報・資料等の充実を図り、その活用方法を広く市民に発信する必要がある。			
		<input type="checkbox"/> 終了		<input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> その他		社会情勢や市民の要望の多様化に応え得る、データベース、レファレンスツール等の充実と情報発信できる体制強化を図る必要があるため。			
評価	評価	(1)平成28年度に取り組んでいる状況				(2)今後の方向性			
		昨年に引き続きホームページを3種作成し、レファレンスツールの充実と活用の周知を図る。レファレンス事例の公開等を推進し、国立国会図書館レファレンス協同データベースへも積極的に掲載し、昨年以上の実績を上げる。高度な調査については、国立国会図書館や大学図書館、専門図書館等との連携により、幅広い情報提供に努める。所沢にゆかりのある作家の著作や歴史、文化等に関する図書及び行政資料や所沢関係のパンフレット類を積極的に収集し、調査研究への対応と共に、情報発信基地としての役割を果たす。				職員の質の向上に努め、郷土に関することや専門性の高いレファレンスサービスの提供に務め、情報発信の場としての図書館の存在の認知に努めていく。			
評価日	平成28年8月19日		評価者職氏名	図書館長 中村 まさみ					
環境影響	有益な環境影響	市民の読書活動の推進		有害な環境影響を及ぼす原因活動	利用案内等の配布		規制を受ける環境法令等	無	
							緊急事態	無	